



そしていよいよ観賢僧正と淳祐が御廟を退座し、御廟橋の袂【たもと】で後を振り返ると、そこにはお大師さまの御姿がありました。僧正は御礼を申し上げると、お大師さまは「汝一人を送るにあらず、ここへ訪ね来たる者は、誰一人漏らさず」と仰せられました。そして

淳祐の手の香りは生涯消えず、淳祐が持つ經典には同じ香りが移ったと言われております。

この1100年前の出来事が現代にも通じる「大師信仰」「弘法大師御入定信仰」の始まり、原点です。この頃よりお大師様のご宝号「南無大師遍照金剛」が唱えられ、今日に到っている訳です。私たちも原点に戻り、改めて心をこめてご宝号をお唱えしていきたいものです。

最後に、皆様にはお盆前にご宝号の写経用紙をお配りし、写経というご浄行をしていただきました。ありがとうございます。ご浄行いただいた方につき1つですが、毎年、正御影た色供【しょうみえく】(3月21日)の日にお大師様に新調した衾【ぎょい】を奉獻する儀式に用いた衣材で調えた衾【おころもぎれ】御守を授与させていただきます。御守りとしてお持ち下さい。

本年亡くなった新精霊

命日順・敬称略 (次回の二夜三日法会は令和4年12月です)

年末年始の寺・教区行事予定

12月20日 **各家先祖供養会** 午前9時～
二夜三日法会の無い年は、12/20に先祖供養を行います。各家に配布した経木塔婆を本尊として、9時から本堂内で供養します。12月19日までに経木塔婆を寺の玄関に置いてある箱にお納め下さい。(墓や古札箱には納めないで下さい)

京都・東寺詣り(納弘法)

12月21日
お大師様の縁日21日に、東寺の弘法市の「納弘法」へお参りします。境内には沢山の露店が立ち、多くのお参りで賑わっています。正月用品など新年を迎える用意に、一度お参りしてはいかがでしょうか。お申し込みは寺までお願い致します。

12月31日
越年法要 (午後9時頃から)
除夜の鐘 (午後11時半頃から)
厄除け祈禱大祭
厄除け祈禱・四国八十八ヶ所お砂踏み
餅持ち準備
餅持ち

1月1日～2月4日
1月10日
1月12日
お正月の厄除祈禱は、コロナ禍ですが例年通り実施する予定です。来年評議員の皆様には、餅持ちの準備と当日の宜しくお伝えをお願いします。何かとお忙しい時期ですが、年明け早々には評議員の皆様にご案内申し上げます。

来年の年忌

一周忌	令和2年	廿三回忌	平成11年
三回忌	平成31年・令和元年	廿五回忌	平成9年
七回忌	平成27年	卅三回忌	昭和64年・平成元年
十三回忌	平成21年	五十回忌	昭和47年
十七回忌	平成17年		

※当寺では廿七回忌の案内はしておりません

今回配布のものの中で、年忌の案内が封筒に入っていましたら、来年年忌に当たっております。また、ただい色の紙が入っていましたら、本年の年忌のもので、未供養のものになります。本年の年忌のものは12/20の各家先祖供養会で拝みますので、ご一報下さい。また、こちらの手違いで供養済のもののお手数ですが、寺までご一報頂ければ幸いです。来年年忌については、ご法事をする場合はなるべく早い目にも、また揚げ法事も含めて、寺までお知らせ下さい。なお塔婆は寺で用意をしております